

公益財団法人 日本ソフトボール協会機関誌

# ソフトボール

2025年/令和7年  
**第483号**  
5月号  
(毎月1回10日発行)

編集兼発行者 公益財団法人 日本ソフトボール協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square  
TEL. 03-5843-0480 FAX. 03-5843-0485

編集部 ㈱日本体育社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13-501  
TEL. 03-3811-6911 FAX. 03-3811-6290



JD. LEAGUE、男女日本リーグが開幕！全国各地で「熱戦」展開中！！

## C o n t e n t s

・第2回女子U15アジアカップ .....2	・第54回日本男子リーグ第1節 .....16
・第43回全国高等学校男子選抜大会 .....4	・ニトリ JD.LEAGUE 2025 第1節・第2節 .....20
・第43回全国高等学校女子選抜大会 .....6	・第58回日本女子リーグ第1節 .....24
・第21回都道府県対抗全日本中学生男子大会 .....8	
・第21回都道府県対抗全日本中学生女子大会 .....10	・球春到来！ソフトボールシーズン開幕！！ .....28
・第18回春季全日本小学生男子大会 .....12	
・第18回春季全日本小学生女子大会 .....14	・事務局だより .....30

# 第2回女子U15アジアカップ

2025年3月26日（水）～30日（日） 台湾・埔里



## 全勝でアジアの「頂点」へ！



去る3月26日（水）～30日（日）、台湾・埔里で「第2回女子U15アジアカップ」が開催され、女子U15日本代表が「全勝優勝」「アジアの頂点」に立ち、今年6月27日（金）～7月5日（土）、イタリア・レニャーノ、カロンノ・ベルトゥゼツラで開催される「第2回女子U15ワールドカップ」の出場権を獲得した。大会には、ホストチームであるチャイニーズ・タイペイをはじめ、香港、インド、韓国、シンガポール、日本の6チームが出場。シングルラウンドロビン方式（1回総当たり）の予選リーグにあたる「オープニングラウンド」を戦い、1位～6位の順位を決定。その順位に基づき、5位と6位が「5位決定戦」、3位と4位が「ブロンズメダルゲーム」（3位決定戦）、1位と2位が「ゴールドメダルゲーム」（優勝決定戦）を行う試合方式で覇が競われた。

女子U15日本代表は香港に18―0、インドに23―0、韓国に25―0の大幅で3連勝。チャイニーズ・タイペイとの「全勝対決」も2点を先制されながら終盤の猛攻で9―2の逆転勝ち。最終戦のシンガポール戦も15―0と大勝し、5戦全勝の1位で「優勝決定戦」に駒を進め、4勝1敗で2位のチャイニーズ・タイペイと再戦。7―0で5回コールド勝ちを収め、圧倒的な強さで「アジアカップ初優勝」を飾った。

# 第2回女子U15アジアカップ 台湾・埔里で開幕!



第2回女子U15アジアカップ 日本戦試合結果



[試合レポートはこちら](#)



[試合レポートはこちら](#)

第2戦 INDIA 0 - 23 JAPAN

第1戦 HONG KONG 0 - 18 JAPAN



[試合レポートはこちら](#)



[試合レポートはこちら](#)

第4戦 JAPAN 9 - 2 CHINESE TAIPEI

第3戦 JAPAN 25 - 0 KOREA



[試合レポートはこちら](#)



[試合レポートはこちら](#)

優勝決定戦 JAPAN 7 - 0 CHINESE TAIPEI

第5戦 JAPAN 15 - 0 SINGAPORE

大会出場メンバー、試合スケジュール等、詳細情報は[こちら](#)

# 第43回全国高等学校男子選抜大会

令和7年3月22日（土）～25日（火） 千葉県成田市／なごみの米屋ぴーちゃんフィールド大谷津野球場 他  
記録提供：千葉県協会記録委員会



## 4年ぶり2回目の優勝 啓新高等学校（福井）



大会 MVP・上田 凌久  
（啓新高等学校／福井）



優秀選手・江藤 響輝  
（神戸野田高等学校／兵庫）

### 【大会概要】

標記大会は、3月22日（土）～25日（火）の4日間、千葉県成田市・なごみの米屋ぴーちゃんフィールド大谷津野球場を主会場に開催。全国各都道府県の代表40チームが「春の高校日本一」の座をめざし、熱戦を繰り広げた。

大会初日は、1回戦8試合、2日目は2回戦16試合、3日目に3回戦8試合・準々決勝4試合の計12試合を行い、最終日に準決勝2試合・決勝1試合の計3試合を実施。天候に恵まれたこともあり、予定通りの日程で大会を終了することができた。

大会期間中は春を通り越し、初夏を感じさせるような天候となり、「日本一」の座をめざす高校生たちが躍動！一投一打に全力を尽くし、若さ溢れる試合を展開してくれた。

ベスト4には、猛打爆発！ 1回戦・2回戦を二桁得点の大差で圧勝し、勢いに乗る豊川高等学校（愛知）。投打の大黒柱・江藤響輝を中心に、強豪校をなぎ倒し、勝ち上がった神戸野田高等学校（兵庫）。僅差の競り合いの連続を制し、しぶとく戦う御調高等学校（広島）。大会屈指の好投手・倉光夏惟人を擁し、すべて完封、無失点の快進撃を見せる啓新高等学校（福井）。以上の4チームが勝ち上がった。

〈準決勝〉  
神戸野田高等学校 3-2 豊川高等学校

豊川は2回裏、二死走者なしから7番・金田琉惶、8番・眞河優之介の長短打で先取点を挙げ、試合の主導権を握ったかに見えた。

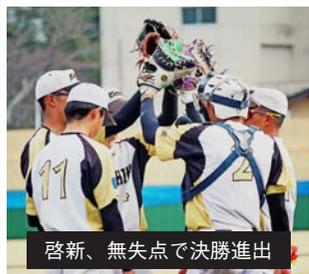
神戸野田はその直後の3回表、2番・北尾英太、3番・江藤響輝の長短打で一死二・三塁とし、次打者のショートゴロの間に三塁走者が還り、同点。続く4回表には、6番・稲垣雄斗のソロホームランで勝ち越し。続く5回表にも3番・江藤響輝にソロホームランが飛び出し、3-1とリードを奪った。

守っては、この試合「投打に大活躍」の江藤響輝が豊川の反撃を6回裏の1点に抑え、3-2の1点差で逃げ切り。「初」の決勝進出を決めた。



豊川が接戦を制し、決勝へ!

〈準決勝〉  
御調高等学校 0-2 啓新高等学校



啓新、無失点で決勝進出

啓新は2回裏、この回先頭の4番・上田凌久が二遊間を抜く安打を打ち、出塁すると、一死後、一塁走者が二塁盗塁。6番・小藤滋臣のライト前へのタイムリーで二塁走者が還り、先取点を挙げた。啓新は5回裏にも安打で出塁した6番・小藤滋臣が二盗、三盗と揺さぶりをかけ、8番・町谷凌平のセンター前へのタイムリーで生還。2点差にリードを広げた。

守っては、今大会屈指の好投手・倉光夏惟人が御調打線をわずか2安打に抑え込み、7三振を奪う力投。2-0の完封で決勝進出を決め、4年ぶり2回目となる「春の日本一」に王手をかけた。

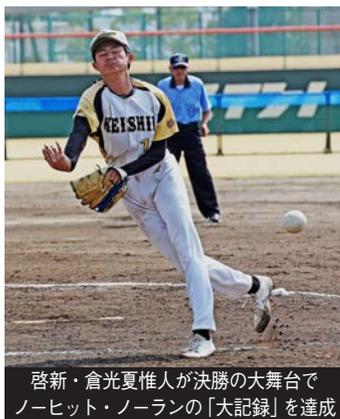
《決勝》  
神戸野田高等学校 0-6 啓新高等学校

後攻の啓新は初回、連続四球と犠打で一死二・三塁の先制のチャンスをつかむと、4番・上田凌久がキッチリとレフトへ犠牲フライを打ち上げ、三塁走者を迎え入れ、先取点を挙げた。啓新は3回裏にも4本の長短打を集め、3点を追加。着実にリードを広げ、終盤6回裏には敵失で出塁した走者を一塁に置き、代打・小嶋颯太がライト線を抜くランニングホームラン! ダメ押しの2点を加え、6-0と大きくリードを奪った。

守っては、今大会無失点の「エース」倉光夏惟人がこの試合も快投!

四球2つを与えはしたものの、神戸野田打線をノーヒットに抑え込み、決勝戦でノーヒット・ノーランの「大記録」を達成(投球数:80、三振9、内野ゴロ7、内直2、外野飛3)。4年ぶり2回目の優勝に花を添えた。

敗れた神戸野田は、初戦となった2回戦で今大会優勝9回を誇る大村工業高等学校を2-1で破って波に乗り、快進撃を見せたが……決勝で力尽き、惜しくも準優勝に終わった。



啓新・倉光夏惟人が決勝の大舞台でノーヒット・ノーランの「大記録」を達成



第43回全国高等学校男子ソフトボール大会

決勝ダイジェスト

2025.3.22~25/千葉県成田市・大谷津運動公園野球場 他



決勝戦ダイジェスト動画はこちらから

大会結果の詳細、準決勝・決勝のインニングスコア等は日本ソフトボール協会オフィシャルホームページで

# ●第43回全国高等学校女子選抜大会●

令和7年3月21日（金）～24日（月） 長崎県大村市／大村市総合運動公園運動広場



記録提供：長崎県協会記録委員会

ベスト4に名乗りを上げたのは、千葉経済大学附属高等学校（千葉）、埼玉栄高等学校（埼玉）、創志学園高等学校（岡山）、佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校（佐賀）。それぞれ優勝経験を持つ「名門・強豪」が最終日の戦いに挑んだ。

特筆すべき記録としては、宮崎県立日向高等学校・中武咲良選手が2回戦／鶴岡東高等学校戦で「1試合最多盗



球春、到来！爽やかなプレイで魅了！！

「第43回全国高等学校女子選抜大会」は、昨年インターハイ男女の会場にもなった長崎県大村市／大村市総合運動公園運動広場において開催され、全国各都道府県の予選を勝ち抜いてきた「48チーム」（※地元・長崎が2チーム出場）が集結。高校女子「春の日本一」をかけ、4日間にわたる熱戦が繰り広げられた。

塁数」となる「5盗塁」を記録。また、山梨学院高等学校・田波媛子投手が3回戦/安田女子高等学校戦で「無安打無得点試合」(※投球数80、三振12、内野ゴロ2、内野飛3、内野直1、外野飛2、盗塁死1、出塁・四球1)を達成した。

〔準決勝〕  
千葉経済大付属高 2-1 埼玉栄高

両チーム無得点のまま迎えた4回表、千葉経済はバント安打、野選で無死一・二塁の好機を作り、3番・加藤友律はスリーバント失敗で一死となったものの、4番・小野瑛梨果が左中間を破る適時二塁打。二者を迎え入れ、大きな2点を先制した。



4回表に千葉経済が先制!

守っては、エース・太田真緒が6回裏に長短打を浴びて1点を返されたが、持ち前の「粘り強いピッチング」で逆転は許さず、完投勝利。2-1で接戦をモノにし、決勝進出を決めた。

〔準決勝〕  
佐賀女子短期大付属佐賀女子高 0-3 創志学園高



創志が佐賀女子を完封!!

序盤は試合が動かず、0-0のまま迎えた4回裏、創志は二死から安打、四球で一・二塁とすると、8番・江口夏紀のショートへの当たりが敵失となる間に1点を先制。

1点リードのまま迎えた終盤6回裏にも、一死から6番・安楽咲のサード強襲安打、相手守備の乱れ等で二死二・三塁とし、9番・松原美春が中越適時二塁打!二者が還り、勝利をグッと引き寄せる追加点を挙げた。

投げては、エース・二ノ宮沙姫が強打の佐賀女子打線を僅か1安打に抑え込み、完封勝利。3-0の快勝で優勝に王手をかけた。

〔決勝〕  
千葉経済大付属高 2-1 創志学園高

千葉経済・太田真緒、創志・二ノ宮沙姫の「両エース」が互いに一步も譲らぬ投手戦を展開。試合は0-0のまま延長タイブレークに突入することになった。

延長8回も両チーム無得点、続く9回に両者1点ずつを取り合い、その後10回、11回と互いに決勝点を奪えぬまま……迎えた12回表、千葉経済はタイブレークの走者を犠打で三塁に送り、7番・竹島姫乃の二遊間寄りに弾ませるセカンドゴロの間に勝ち越しに成功!2-1と再びリードを奪った。



果てなく続く「大熱戦」の末に…

守っては、準決勝から連投し、力投を続ける太田真緒がその裏の創志の攻撃をピッチャーフライ、セカンドフライ、ピッチャーゴロに打ち取り、「大熱戦」に終止符。9年ぶり2回目の「栄冠」をつかみ取った!!

大会トーナメント表、全試合インニングスコア、  
決勝ダイジェストはこちら!



# JOCジュニアオリンピックカップ

## ◎第21回都道府県対抗全日本中学生男子大会◎

令和7年3月28日（金）～30日（日） 宮崎県宮崎市／ひなた県総合運動公園軟式野球場・運動広場



記録提供：宮崎県協会記録委員会

ベスト4には連覇を狙う鹿児島県選抜をはじめ、長崎県選抜、高知県男子選抜、神奈川県選抜がそれぞれ勝ち上がった。



男子ソフトボールは「中学生カテゴリー」の普及・発展が大きなカギとなる

第21回を教える「都道府県対抗全日本中学生男子大会」は、宮崎県宮崎市／ひなた県総合運動公園軟式野球場・運動広場において開催され、出場17チームとまだまだ参加チームの少なさは否めないものの、それを感じさせない「白熱の戦い」を展開。

〔準決勝〕  
長崎県選抜 0-2 鹿児島県選抜

後攻の鹿児島は初回、1番・濱島海司が中越二塁打、すかさず三盗でチャンスを広げ、一死後、3番・濱田奏太郎のレフトへの犠牲フライで生還。1点を先制した。

鹿児島は1点リードのまま迎えた終盤6回裏にも、四球から足で揺さぶり無死三塁と得点圏に走者を進め、一死後、3番・濱田奏太郎のショートゴロの間に貴重な2点目を追加。勝利をグッと引き寄せた。

投げては、前回大会の優勝投手でもある「エース」福岡剛太郎が強豪・長崎打線を散発4安打に抑え、完封勝利。連覇へ王手をかけた。



エース・福岡剛太郎が熱投！

〔準決勝〕  
神奈川県選抜 5-0 高知県男子選抜

神奈川は2回表、二死一塁から9番・野澤耀太がレフト前ヒット。この打球の処理を左翼手が誤る間に一塁走者が一気に還り、1点を先制した。

先手を取った神奈川は、その後も4回表に相手守備の乱れと1番・三堀玲雅の適時打で2点、5回表に5番・青木裕聖のタイムリーで1点、6回表にも3番・鈴木翔太の適時打で1点を追加し、着々とリードを広げた。



神奈川が着実に加点、決勝へ

守っては、「エース」加藤佑馬が「サウスポー」特有の球筋で高知打線を翻弄。2安打・9三振と危なげのないピッチングでシャットアウトし、初の決勝へ駒を進めた。

〔決勝〕  
神奈川県選抜 2-1 鹿児島県選抜

神奈川・加藤佑馬、鹿児島・福岡剛太郎「左右のエース」が決勝に相応しい見応えのある投手戦を展開。試合は両チーム一歩も譲らず、0-0のまま延長タイブレークに突入した。

延長8回は互いに無得点、9回に両者1点ずつを取り合い、迎えた10回表、神奈川はタイブレークの走者が6番・後藤健志の打席の「初球」三盗に成功。無死三塁とブレッシャーをかけると、後藤健志がスリーボール・ツーストライクと粘った後の7球目をとらえ、二遊間を破るタイムリー！三塁走者を迎え入れ、勝ち越しに成功した。

守っては、準決勝に続き「抜群の安定感」を示す加藤佑馬が「最後の力」を振り絞り、その裏鹿児島に得点を許さず、2-1で試合終了。神奈川が前回王者との「死闘」を制し、初の頂点へ登り詰めた!!



神奈川、初優勝!!

大会トーナメント表、全試合インニングスコア、  
決勝ダイジェストはこちら!



# JOCジュニアオリンピックカップ 第21回都道府県対抗全日本中学生女子大会

令和7年3月28日（金）～31日（月）※雨天のため、1日順延 群馬県伊勢崎市／伊勢崎市ソフトボール場 他



## 初の栄冠に輝く！ 東京都選抜

記録提供…群馬県協会記録委員会



優秀選手・山本こゝろ  
(大阪選抜)



大会 MVP・櫻本柗凜  
(東京都選抜)

### 【大会概要】

標記大会は、3月28日（金）～31日（月）の4日間（大会2日目が悪天候のため、中止・順延。予備日まで使用して全日程を終了した）、群馬県伊勢崎市・伊勢崎市ソフトボール場を主会場に開催。全国各都道府県の代表46チームが集結。「全国制覇」をめざし、熱戦を展開した。

大会初日は、1回戦14試合・2回戦16試合を実施、2日目は3回戦8試合・準々決勝4試合の計12試合を実施する予定であったが、悪天候のため、中止・順延。3日目にその試合をスライドさせ、予備日に準決勝2試合・決勝1試合の計3試合を実施。何とか予定された全日程を終了することができた。

大会期間中は真冬のような寒さに凍えることもあったが、「全国制覇」をめざし、各都道府県「選りすぐり」の精鋭たちが激戦を繰り広げた。

ベスト4には、投打が噛み合い、圧勝の連続で順調に勝ち進んだ大阪選抜。2試合連続完封の後、静岡県選抜との接戦を2-1で競り勝った千葉。3試合連続完封の後、「地元」群馬選抜を4-1で破った栃木県選抜。好調な打線の活躍とエース・櫻本柗凜の好投で快進撃を続ける東京都選抜。以上の4チームが勝ち上がった。

〈準決勝〉  
大阪選抜 6-1 千葉



大阪が千葉を破り、2年連続決勝進出

大阪は2回表、安打、四球、犠打等で二死ながら二・三塁のチャンスをつかみ、9番・高村菜々子のセンター前へのタイムリーで先取点を挙げ、さらに相手守備の乱れもあり、この回2点を先制した。

2点を先制された千葉は3回裏、相手守備の乱れに乗じて1点を返し、なお二死二塁の「一打同点」のチャンスが続いたが、「あと一本」が出ず……。

結局、この攻防が試合のターニングポイントとなり、大阪が終盤6回表、4本の長短打を集め、決定的な4点を追加。6-1で押し切り、前年に続き2年連続となる決勝進出を決めた。

〈準決勝〉  
東京都選抜 7-1 栃木県選抜

東京は2回表、相手投手の制球の乱れもあり、四死球、ワイルドピッチで一死二・三塁のチャンスをつかむと、8番・大森すみれがセンター前に先制のタイムリー！ さらにワイルドピッチ、2番・森井澄香の左中間を破る適時三塁打等でこの回大量4点を奪い、試合の主導権を握り、続く3回表にも4番・塚越悠乃、5番・辻七海の長短打、7番・西峯里桜の犠牲フライ等で2点を追加。6回表にも7番・西峯里桜、8番・大森すみれ、9番・福井彩水の3連続長短打で1点を加え、7-0と大きくリードを奪い、栃木の反撃を6回裏の1点に抑え、7-1で圧勝。決勝進出を決めた。



2回表、適時三塁打を放った東京・森井澄香

《決勝》  
東京都選抜 5-3 大阪選抜



東京の「エース」櫻本柗凜が力投！  
延長10回に及ぶ激闘を制し、初優勝

東京が2回表に先制すれば、大阪が3回裏に追いつき、5回裏に勝ち越し。東京も6回表に2-2の同点に追いつき、そこから両チーム一歩も譲らず、試合は延長タイブレークへとつれ込んだ。

延長8回は両チーム得点なく、9回は両チーム1点ずつを取り合い、迎えた10回表、東京は送りバント失敗(スリーバント失敗)でタイブレークの走者を進められず、一死となったが、8番・大森すみれがセンター前へ勝ち越しのタイムリー！ 本塁への送球の間に二塁まで進塁し、二死後、1番・原嶋菜緒がセンター頭上を抜くタイムリースリーベースを放ち、2点目。この試合初めて2点のリードを奪った。

大阪もその裏、必死の反撃を試みたが、力投を続ける東京・櫻本柗凜の前に得点を奪えず……延長10回、ついに力尽きた。

大阪は延長9回裏、3-3の同点に追いつき、なお無死満塁という「一打サヨナラ」の絶好機を迎えたが「あと一本」が出ず……優勝の歓喜を目前にしなが、惜しくも準優勝に終わった。



第21回  
都道府県対抗  
全日本中学生女子  
ソフトボール大会  
決勝  
ダイジェスト



決勝戦ダイジェスト動画は[こちらから](#)

大会結果の詳細、準決勝・決勝のインニングスコア等は  
[日本ソフトボール協会オフィシャルホームページ](#)で

# 第18回春季全日本小学生男子大会

令和7年3月29日（土）～31日（月） 奈良県大和郡山市・生駒市・奈良市／大和郡山市総合公園ホウワグラウンド 他  
記録提供：奈良県協会記録委員会

## 安城桜井SBC（愛知）



# 悲願の初優勝

本大会は3月29日（土）～31日（月）の3日間、奈良県大和郡山市を主会場に開催された。

大会は凍てつくような寒さの中ではあったものの、予定通り初日（29日／土）に1回戦・2回戦の31試合、2日目（30日／日）に3回戦・準々決勝の12試合、最終日（31日／月）に準決勝・決勝の3試合を行い、無事全日程を終了することができた。



寒さに負けず、熱戦展開！

大会最終日まで勝ち残ったのは、本郷少年ソフトボールクラブ（福井）、安城桜井SBC（愛知）、江波体協少年ソフトボールクラブ若竹会（広島）、ケヤキーズ（長崎）の4チーム。  
小学生男子「春の頂点」をかけて、寒さを吹き飛ばす「熱い戦い」が繰り広げられた。

〈準決勝〉 本郷少年ソフトボールクラブ 0 - 6 安城桜井 SBC

安城は3回裏、一死から1番・川尻光輝が一塁線を破る三塁打を打ち、チャンスメイクすると、次打者のセカンドゴロの間に生還し、1点を先取。5回裏にも二死から9番・坂元優斗がショート内野安打で出塁し、すかさず盗塁。続く1番・川尻光輝の故意四球で一・二塁とした後、2番・加藤駿の左前適時打で二塁走者がホームイン。なお、二死二・三塁のチャンスで3番・織田凜太郎がバックスクリーンへ3点本塁打！さらに4番・吉田叶歩の右中間を破る二塁打、敵失でもう1点追加し、この回5点を奪い、6-0とリードを広げた。

投げては、エース・香西満昭が本郷打線を2安打完封！初優勝に王手をかけた。



「頼れるキャプテン」織田凜太郎が3点本塁打！

〈準決勝〉 江波体協少年ソフトボールクラブ若竹会 3 - 0 ケヤキーズ

「無失点」を続ける江波体協・加藤一輝



先攻の江波体協は初回、1番・重森悠斗が中前安打で出塁。次打者のセカンドゴロの間に二塁へ進むと、3番・加藤一輝のファーストゴロが相手のエラーを誘う間に一気にホームイン！まず1点を先制。2回表にも相手投手の制球の乱れに乗じて二死一・二塁とした後、1番・重森悠斗が中越適時三塁打を打ち、2点を追加。3-0とし、試合の主導権を握った。

守っては、エース・加藤一輝がケヤキーズ打線を僅か1安打に抑え込む危なげのないピッチングを展開。3-0のまま勝利を飾り、決勝進出を決めた。

《決勝》 江波体協少年ソフトボールクラブ若竹会 0 - 2 安城桜井 SBC

江波体協打線を完封し、初優勝の立役者となった「エース」香西満昭



初回、二死二・三塁のピンチを無失点で切り抜けた安城は、その裏、江波体協の先発・加藤一輝の立ち上がりを攻め、一死から2番・加藤駿がショート内野安打で出塁。捕逸で二塁へ進むと、3番・織田凜太郎の左中間を抜く適時二塁打で生還し、1点を先取。さらに敵失も絡んで一死三塁の好機が続き、4番・吉田叶歩の二遊間を破る適時打でこの回2点目を追加した。

江波体協も3回表、四球、安打、犠打失策で無死満塁の反撃機をつかんだが、後続が見逃し三振、空振り三振、センターフライに打ち取られ、無得点。このビッグチャンスを活かせなかったことが響き、その後も得点を挙げられないまま、完封負け。準優勝という結果で今大会を終えた。

初優勝をつかんだ安城は、「エース」香西満昭がこの決勝も被安打3の好投！今大会全試合を一人で投げ抜き、2回戦では「ノーヒット・ノーラン」も達成。大会を通して僅か2失点と初優勝の「立役者」になり、「大会MVP」にも輝いた。

大会結果詳細、全試合イニングスコアは日本協会オフィシャルサイトで！

# 第18回春季全日本小学生女子大会

令和7年3月27日（木）～30日（日） 岐阜県揖斐郡揖斐川町／揖斐川健康広場ビッグランド 他  
記録提供：岐阜県協会記録委員会



4チームが初優勝をかけ、最終決戦へ！

標記大会は3月27日（木）～30日（日）の4日間、岐阜県揖斐郡揖斐川町を舞台に開催された。

大会初日（27日／木）に1回戦・2回戦12試合、2日目（28日／金）に2回戦12試合、3日目（29日／土）に3回戦・準々決勝12試合が行われ、準決勝に進む4チームが出揃った。

ベスト4に名乗りを上げたのは、いわさきレッズ（岩手）、石神井スマイル（東京）、松戸JSLホワイトレイズ（千葉）、福井WINSスポーツ少年団（福井）。

最終日（30日／日）、小学生女子「春の日本一」をかけた最後の戦いに挑んだ。

〈準決勝〉石神井スマイル 9-4 いわさきレッズ

石神井打線が「豪快なスイング」で大量得点



先攻の石神井は初回、四球、内野安打等で一死二・三塁のチャンスを得ると、4番・須崎凜のショート頭上を越える適時打で1点を先取。なお一死二・三塁の好機が続き、相手守備の乱れと6番・中川瑚心のレフト線を抜く適時三塁打、押し出しでこの一回一挙5点を奪った。

石神井は2回表にも相手守備の乱れを足場に6番・中川瑚心のタイムリーで1点を追加。3回表には3番・川井粋、4番・須崎凜の連続適時二塁打で3点を加え、試合の大勢を決めた。

一方、いわさきも2回裏に4番・千田ひかりのソロ本塁打で1点、3回裏に5番・八重樫朱那の適時三塁打で1点、5回裏にも相手守備の乱れ等で2点を返したが、反撃及ばず。序盤の大量失点が響き、4-9で敗れ、決勝進出はならなかった。

〈準決勝〉福井 W-WINS スポーツ少年団 5-9 松戸 JSL ホワイトレイズ

初回、福井が先制したが…



先攻の福井は初回、松戸の先発・田邊彩夏の制球の乱れに乗じて、無死二・三塁の先制機を得ると、3番・外野桜乃がバックスクリーンに運ぶスリーランを放ち、3点を先制。

しかし、その裏、福井の先発・山田莉依紗も制球が定まらず、4四死球等で4失点。逆転を許してしまった。

福井は3回表、四球で出塁した走者が足で揺さぶり、内野安打と相手守備の乱れで2点を挙げ、5-4と再びリード。

その裏、松戸も2つの四球と暴投、8番・田邊彩夏の適時二塁打で試合を振り出しに戻した。

5-5の同点で迎えた4回裏、松戸は四球、バント安打で無死一・二塁とした後、3番・岩田咲良、4番・森川遥の連続適時打、さらに暴投で一挙4点を勝ち越し。5回表の福井の攻撃を無得点に抑えたところで制限時間を迎え、結果的に9-5で松戸が勝利。決勝に進むこととなった。



松戸が4回裏に4点を勝ち越し、決勝へ

《決勝》石神井スマイル 11-0 松戸 JSL ホワイトレイズ

関東勢対決となった決勝は、先攻の石神井が初回、一死二・三塁から4番・須崎凜の二遊間を破る適時打で2点を先制。

石神井は2回表にも、7番・前畑純玲の二塁打を皮切りに6安打と相手守備の乱れで一挙6得点。3回表にも、一死から4連打と敵失で3点を加え、11-0と一方的な試合展開になった。

投げては、「エースでキャプテン」の須崎凜が松戸打線をわずか2安打に抑え込み、完封勝利。打撃でも「4番」としてチームを引っ張り、この決勝も2安打・3打点の活躍で「大会MVP」に選出された。



「キャプテン」須崎凜が投打で活躍。初優勝に貢献し、「MVP」に輝く!

大会結果詳細、全試合イニングスコアは日本協会オフィシャルサイトで!

# ◆第54回日本男子リーグ第1節◆

## Honda、平林金属、山口水産



# 同率首位発進！



4日間にわたった第1節を多くの関係者がサポート

「第54回日本男子ソフトボールリーグ」の開幕となる「第1節」が、去る4月11日（金）～14日（月）の4日間（※雨天により1日順延）、広島県尾道市／御調ソフトボール球場を舞台に開催された。

第1節には例年と同じく「リーグ加盟全チーム」（※今シーズンから安川電機（福岡）が新たに加わり、全18チームとなった）が集結。選手たちの「ハイレベルな攻防」はもちろんのこと、主管である広島県ソフトボール協会・尾道地区ソフトボール協会の皆さんも一丸となって、審判員・記録員・大会運営に奔走。尾道市が全国に誇る「4面同時進行が可能なソフトボール専用球場」をフル稼働させ、熱戦を支えた。

全体の結果(順位争い)としては、  
 前年王者・SAGAダイワアクト(※  
 今シーズンからチーム名を改称)が「世  
 界ナンバークロウンスポーツ」ジャッ  
 ク・ベスグループを擁しながら、「ま  
 さか……」の1勝3敗と黒星先行スタ  
 ート。Honda、平林金属、山口水  
 産の3チームが「無傷の4連勝」を飾  
 って「開幕ダッシュ」に成功し、次い  
 でジェイテクト、高知パシフィックウ  
 エーブ、愛媛ウエストが3勝1敗で4  
 位グループを形成。トヨタ、三重ヴェ  
 ルデウィン、大阪桃次郎、豊田自動織  
 機、大阪・堺グローバルは2勝2敗で  
 同率7位となり、SAGAダイワアク  
 ト、日本エコシステム、デンソー、旭  
 化成、埼玉県庁クラブは1勝3敗の12  
 位グループ。熊本嶋田クラブ、安川電  
 機は4連敗と勝ち星を挙げられないま  
 ま、17位タイで今節を終えた。



王者・SAGAダイワアクトは1勝3敗と出遅れ…

鳥山和也新監督のもと、まず「4連勝」を飾った平林金属



山口水産も「4連勝」！このまま躍進のシーズンとなるか？



**全18チームとなり、  
戦い「激化」！  
次節以降も混戦必至！！**

# ◎第1節終了時点 全チーム勝敗・順位

1位	Honda	4勝0敗
//	平林金属	4勝0敗
//	山口水産	4勝0敗
4位	ジェイテクト	3勝1敗
//	高知パシフィックウェーブ	3勝1敗
//	愛媛ウエスト	3勝1敗
7位	トヨタ	2勝2敗
//	三重ヴェルデウィン	2勝2敗
//	大阪桃次郎	2勝2敗
//	豊田自動織機	2勝2敗
//	大阪・堺グローバル	2勝2敗
12位	SAGAダイワアクト	1勝3敗
//	日本エコシステム	1勝3敗
//	デンソー	1勝3敗
//	旭化成	1勝3敗
//	埼玉県庁クラブ	1勝3敗
17位	熊本嶋田クラブ	0勝4敗
//	安川電機	0勝4敗

※上位5チームが決勝トーナメントに進出



## 【大会第1日(4月11日) 試合結果】

平林金属 11-2 日本エコシステム  
 山口水産 5-1 愛媛ウエスト  
 大阪桃次郎 7-3 大阪・堺グローバル  
 埼玉県庁クラブ 3-2 トヨタ  
 三重ヴェルデウィン 12-10 日本エコシステム  
 ジェイテクト 8-2 デンソー  
 Honda 1-0 旭化成  
 高知パシフィックウェーブ 7-1 埼玉県庁クラブ  
 大阪・堺グローバル 8-0 熊本嶋田クラブ  
 愛媛ウエスト 9-8 豊田自動織機  
 Honda 16-6 安川電機  
 大阪桃次郎 4-3 SAGAダイワアクト

## 【大会第2日(4月12日) 試合結果】

山口水産 2-0 日本エコシステム  
 ジェイテクト 2-1 旭化成  
 三重ヴェルデウィン 3-2 トヨタ  
 平林金属 6-5 デンソー  
 大阪・堺グローバル 9-5 安川電機  
 愛媛ウエスト 9-1 熊本嶋田クラブ  
 Honda 6-0 埼玉県庁クラブ  
 高知パシフィックウェーブ 7-5 大阪桃次郎  
 トヨタ 2-0 SAGAダイワアクト  
 山口水産 8-4 熊本嶋田クラブ  
 デンソー 4-0 旭化成  
 豊田自動織機 1-0 高知パシフィックウェーブ

## 【大会第3日(4月13日) 試合結果】

平林金属 6-0 大阪・堺グローバル  
 愛媛ウエスト 8-3 デンソー  
 ジェイテクト 6-5 三重ヴェルデウィン  
 旭化成 1-0 大阪桃次郎  
 豊田自動織機 3-1 埼玉県庁クラブ  
 日本エコシステム 6-5 熊本嶋田クラブ  
 Honda 7-4 三重ヴェルデウィン  
 SAGAダイワアクト 7-0 安川電機

## 【予備日(4月14日) 試合結果】

山口水産 4-3 豊田自動織機  
 高知パシフィックウェーブ 2-1 SAGAダイワアクト  
 平林金属 4-3 ジェイテクト  
 トヨタ 10-0 安川電機

# 第1節の詳細レポート、 ダイジェスト動画はこちら！



ニトリ  
JD.LEAGUE

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第1節・第2節



# 第1節

「ニトリJD.LEAGUE 2025」が4月12日(土)開幕! 第1

節は「東地区」が岐阜県大垣市、愛知県安城市の2会場、「西地区」が滋賀県甲賀市、愛媛県松山市の2会場、計4会場で「開幕」を迎えた。

大会初日は「開幕」にふさわしい晴天に恵まれたものの、2日目が悪天候に見舞われ、松山ラウンドは試合開始時間を遅らせ、予定された試合を終了することができたが、大垣ラウンド、安城ラウンド、甲賀ラウンドの3会場は雨天・順延となり、予備日(4月14日/月)を使って予定された全試合を終了した。

「東地区」では、昨シーズン「東地区」優勝の日立、昨シーズン「連覇」を達成したトヨタから「日本代表」の好投手・後藤希友が加わる等「大型補強」に成功した戸田中央が開幕「連勝」スタート。2年連続で「優勝」を逃し、「王座奪還」を至上命令とするビックカメラ高崎は、その戸田中央との「直接対決」で炭谷遙香が先制スリランを打ちながら「レジェンド」上野由岐子が打ち込まれてしまい、3-18の逆転負け。そのビックカメラ高崎を含むホンダ、デンソー、太陽誘電の4チー

ムが1勝1敗で並び、大垣ミナモ、NECプラットフォームズが勝ち星なしの連敗スタートとなった。

「西地区」では、3連覇を狙う「王者」トヨタが盤石の連勝スタート。接戦の連続を制したSHIONOGI、2試合連続逆転勝ちの東海理化が「同率首位」に並ぶ展開となっている。



連勝スタートを切った東海理化。今シーズンは一味違う!?

これを1勝1敗のSGホールディングス、豊田自動織機が追い、伊予銀行タカギ北九州、日本精工は連敗スタートとなってしまった。

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第1節「東地区」大垣ラウンド 岐阜県大垣市・大垣市北公園野球場					
月日	試合結果				
4月12日(土)	第1試合	戸田中央	メディックス埼玉	7-0	太陽誘電 ソルフィーユ
	第2試合	大垣	ミナモ	0-9	ビックカメラ高崎 ビークイーン
4月13日(日)	第1試合	戸田中央	メディックス埼玉	雨天順延	ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合	大垣	ミナモ	雨天順延	太陽誘電 ソルフィーユ
4月14日(月)	第1試合	戸田中央	メディックス埼玉	8-3	ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合	大垣	ミナモ	2-3	太陽誘電 ソルフィーユ

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第1節「東地区」安城ラウンド 愛知県安城市・デンソー プライムペガサス スタジアム					
月日	試合結果				
4月12日(土)	第1試合	NECプラットフォームズ	レッドファルコンズ	0-8	日立 サンディーバ
	第2試合	デンソー	プライムペガサス	3-2	ホンダ リヴェルタ
4月13日(日)	第1試合	NECプラットフォームズ	レッドファルコンズ	雨天順延	ホンダ リヴェルタ
	第2試合	デンソー	プライムペガサス	雨天順延	日立 サンディーバ
4月14日(月)	第1試合	NECプラットフォームズ	レッドファルコンズ	3-6	ホンダ リヴェルタ
	第2試合	デンソー	プライムペガサス	1-5	日立 サンディーバ

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第1節「西地区」甲賀ラウンド 滋賀県甲賀市・甲賀市民スタジアム					
月日	試合結果				
4月12日(土)	第1試合	タカギ北九州	ウォーターウェーブ	2-10	トヨタ レッドテリアーズ
	第2試合	日本精工	プレイベアリーズ	1-4	東海理化 チェリーブロッサムズ
4月13日(日)	第1試合	タカギ北九州	ウォーターウェーブ	雨天順延	東海理化 チェリーブロッサムズ
	第2試合	日本精工	プレイベアリーズ	雨天順延	トヨタ レッドテリアーズ
4月14日(月)	第1試合	タカギ北九州	ウォーターウェーブ	3-7	東海理化 チェリーブロッサムズ
	第2試合	日本精工	プレイベアリーズ	2-4	トヨタ レッドテリアーズ

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第1節「西地区」松山ラウンド 愛媛県松山市・マドンナスタジアム					
月日	試合結果				
4月12日(土)	第1試合	豊田自動織機	シャイニングベガ	6-9	SHIONOGI レインボーストークス
	第2試合	伊予銀行	ヴェールズ	1-6	SGホールディングス ギャラクシースターズ
4月13日(日)	第1試合	豊田自動織機	シャイニングベガ	5-0	SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第2試合	伊予銀行	ヴェールズ	7-8	SHIONOGI レインボーストークス

# 第2節

「ニトリ JD.LEAGUE 2025」第2節が4月19日（土）・20日（日）の2日間開催された。

この第2節「第12節、最終第14節は昨シーズンとは異なり、3会場での開催となり、「地区シリーズ」の「東地区」「西地区」各1会場と、「東地区」「西地区」のチームが対戦する「交流戦」シリーズが1会場、計3会場での開催となり、「交流戦」シリーズは従前と同じ1日2試合だが、「東地区」「西地区」は1日3試合を実施する形に変更された。

「東地区」では、「日本代表の若きエース」後藤希友ら「大型補強」に成功した戸田中央が開幕4連勝を飾り、単独首位。第1節でその戸田中央には敗れたものの、今節「交流戦」で毎年のように「リーグ優勝」を争う「宿敵」トヨタを濱村ゆかり、上野由岐子の継投で延長タイブレークの末、11-0で完封。今節連勝のビックカメラ高崎、開幕戦を落とした後、3連勝のホンダの両チームが3勝1敗でこれを追い、今節連敗を喫した昨シーズンの「東地区」覇者・日立、ともに「新監督」を迎えたデンソー、太陽誘電が2勝2敗の勝率5割。NECプラットフォームズが1勝3敗、開幕からまだ勝ち星なく

4連敗の大垣ミナモの順となっている。「西地区」では3連覇を狙うトヨタが「宿敵」ビックカメラ高崎に0-1の完封負けを喫し、今シーズン初黒星。3勝1敗で2位に順位を落とし、第1節・第2節「負けなし」の4連勝を飾ったSHIONOGIが単独首位に浮上。第1節で連勝スタートを飾った東海理化は今節連敗。豊田自動織機とともに2勝2敗の勝率5割で3位につけている。



今シーズン初勝利を挙げた日本精工。思わず涙溢れる

## ニトリ JD.LEAGUE 2025 第2節「東地区」さいたまラウンド 埼玉県さいたま市・レジデンシャルスタジアム大宮

月日	試合結果
4月19日(土)	第1試合 NECプラットフォームズ レッドファルコンズ 6-1 大垣ミナモ
	第2試合 戸田中央 メディックス埼玉 4-1 デンソー ブライトペガサス
	第3試合 ホンダ リヴェルタ 5-3 日立 サンディーバ
4月20日(日)	第1試合 NECプラットフォームズ レッドファルコンズ 4-7 デンソー ブライトペガサス
	第2試合 ホンダ リヴェルタ 9-3 大垣ミナモ
	第3試合 戸田中央 メディックス埼玉 5-4 日立 サンディーバ

## ニトリ JD.LEAGUE 2025 第2節「西地区」甲賀ラウンド 兵庫県尼崎市・ベイコム野球場

月日	試合結果
4月19日(土)	第1試合 タカギ北九州 ウォーターウェーブ 0-9 豊田自動織機 シャイニングベガ
	第2試合 SHIONOGI レインボーストークス 4-3 SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第3試合 伊予銀行 ヴェールズ 0-2 日本精工 プレイベアリーズ
4月20日(日)	第1試合 タカギ北九州 ウォーターウェーブ 5-2 SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第2試合 伊予銀行 ヴェールズ 4-1 豊田自動織機 シャイニングベガ
	第3試合 SHIONOGI レインボーストークス 6-2 日本精工 プレイベアリーズ

## ニトリ JD.LEAGUE 2025 第2節「交流戦」豊田ラウンド 愛知県豊田市・豊田市運動公園野球場

月日	試合結果
4月19日(土)	第1試合 東海理化 チェリーブロッサムズ 0-8 ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合 トヨタ レッドテリアーズ 12-1 太陽誘電 ソルフィュー
4月20日(日)	第1試合 東海理化 チェリーブロッサムズ 3-5 太陽誘電 ソルフィュー
	第2試合 トヨタ レッドテリアーズ 0-1 ビックカメラ高崎 ビークイーン



**ニトリ JD.LEAGUE 2025****東地区 第2節終了時点 順位表**

順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	戸田中央 メディックス 埼玉	4勝0敗	1.000
2位	ホンダ リヴェルタ	3勝1敗	0.750
2位	ビックカメラ高崎 ビークイーン	3勝1敗	0.750
4位	太陽誘電 ソルフィュー	2勝2敗	0.500
4位	日立 サンディーバ	2勝2敗	0.500
4位	デンソー ブライトベガサス	2勝2敗	0.500
7位	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	1勝3敗	0.250
8位	大垣 ミナモ	0勝4敗	0.000

**西地区 第2節終了時点 順位表**

順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	SHIONOGI レインボーストークス	4勝0敗	1.000
2位	トヨタ レッドテリアーズ	3勝1敗	0.750
3位	豊田自動織機 シャイニングベガ	2勝2敗	0.500
3位	東海理化 チェリーブロッサムズ	2勝2敗	0.500
5位	日本精工 プレイブベアリーズ	1勝3敗	0.250
5位	SGホールディングス ガラクシースターズ	1勝3敗	0.250
5位	伊予銀行 ヴェールズ	1勝3敗	0.250
5位	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	1勝3敗	0.250

選手・チームのプロフィール、試合結果、全試合のLIVE配信は JD.LEAGUE 公式サイトで

<https://jdleague.jp/>



花王コスメ小田原フェニックス

# JAPAN SOFTBALL LEAGUE

第58回  
日本女子ソフトボールリーグ  
第1節

Platinum Section



静甲

開幕連勝  
同率  
首位



YKK

Sapphire Section



小泉病院 Blue Arrows

【第1節】 令和7年4月19日（土）・20日（日）

●プラチナセクション・サファイアセクション合同開催  
石川県金沢市・金沢市営専光寺ソフトボール場

☆プラチナセクション☆

花王コスメ小田原、静甲  
開幕連勝で同率首位！

★サファイアセクション★

YKK、小泉病院  
開幕連勝の好スタート

# ●第1節・プラチナセクション概要●

「第58回日本女子ソフトボールリーグ」第1節は、4月19日(土)・20日(日)の両日、石川県金沢市・金沢市営専光寺ソフトボール場を会場に、「プラチナセクション」「サファイアセクション」合同で開催され、日本リーグ所属全12チームが一堂に会し、熱戦を繰り広げた。

初日(4月19日/土)は夏を思わせる暑さとなり、翌日(4月20日/日)は冬に戻ったかのような冷え込みで第3試合開始頃には雨が降り始め、凍えるような寒さの中での試合となったが、チームの協力・大会関係者の尽力もあり、何とか予定された全試合を行うことができた。

昨シーズンの優勝チーム、第3位、第5位、第7位、第9位、第11位の6チームで構成される「プラチナセクション」では前年7位の花王コスメ小田原と9位の静岡が連勝スタート。下位のチームが上位のチームを破る展開となり、前年度優勝のMORIALL WAVE KANOYAは2日目第3試合の雨とグラウンドコンディションの悪化にも泣かされ、前年3位の大和電機に敗れ、1勝1敗。そのMORIALL WAVE KANOYAに勝った大和電機も1勝1敗のスタートとなり、前年5位の

Citrine Ichinomiyaと前年11位のルネス紅葉スポーツ柔整専門学校が連敗スタートとなった。開幕連勝で「同率首位」に立った静岡は、昨シーズン「エース」が抜け、苦しんだ投手陣が1シーズン「実戦」で経験を積み、初戦の大和電機戦は小井沼美月の完封で3-0と快勝。続くルネス紅葉スポーツ柔整専門学校戦は望月ひよりが延長タイブレークを投げ抜き、2-1で競り勝ち、開幕連勝スタートの立役者となった。

花王コスメ小田原は好投手・栗原なみが、まだ「本調子」とはいえないものの、打線がそれを援護し、初戦を5-4、2戦目も延長タイブレークの末に7-4と競り勝ち、苦しみながらも開幕連勝を飾った。これを「連覇」を狙うMORIALL WAVE KANOYA、「王座奪還」へ意気込む大和電機の「実力派」チームが1勝1敗で追い、今節勝ち星のなかったCitrine Ichinomiya、ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校が続く展開となっている。特にルネス紅葉スポーツ柔整専門学校はいずれも1点差の惜敗で、今後「何かやつてくれそう!」な予感と期待に満ちた試合を見せてくれた。

# ●第1節・サファイアセクション概要●

前年度準優勝、第4位、第6位、第8位、第10位、第12位の6チームで構成される「サファイアセクション」も昨シーズン下位のチームが上位のチームを破る構図となり、前年6位のYKK、前年10位の小泉病院が開幕連勝の好スタートを切った。

これを前年度準優勝のVONDS市原、昨シーズンは「最下位」に沈んだペヤングが1勝1敗で追いかけて、前年4位の厚木SC、前年8位の平林金属が勝ち星なしの連敗スタートとなった。YKKは初戦、平林金属に5-0と圧勝し、続くVONDS市原戦も9-0と大勝。昨シーズン「ルーキー」だった畑中萌、木澤愛梨が確実に成長。「左右の両輪」としてチームを引っ張り、持前の「強力打線」がこれを守り、持前の「強力打線」がこれを守り、持前の「強さ」を感じさせる試合内容で連勝を飾った。

小泉病院は2試合で21得点を叩き出す好調な打線の活躍で開幕連勝を飾ったが、投手陣に若干の不安があり、「エース不在」の状態は手放しで喜べる試合内容ではなく、第2節以降の戦いで「真価」が問われそうだ。

1勝1敗のVONDS市原は、やはり昨シーズン「 MVP」に輝いた「エース」高田香が抜けた穴が大きく、高田香とともに「Wエース」としてチームを支えてきた渡邊双葉がどこまで踏み張ることができるかが今後チーム浮沈のカギを握りそうだ。

面白い存在になりそうなのがペヤング。例年、シーズン終盤になってようやく「初勝利」挙げる……といった印象の強いチームが、今シーズンは開幕となる第1節で早々に「1勝」を挙げた。「ルーキー」齋藤南美が平林金属戦で好投。「エース」平山綾乃とはまったく違うタイプだけに「左右の両輪」が機能すれば、上位戦線に割り込んでいくことも夢ではない。

今節勝ち星なしに終わった厚木SCと平林金属は「エース」と「主砲」が抜けた穴をどう埋めていくか。厚木SCは安定感抜群のピッチングを見せていた「エース」古屋英恵に代わる存在が現時点では見当たらず、2試合で22失点と投手陣が打ち込まれている。打線は2試合とも「先手」を取っているだけに、投手陣の立て直しが急務だ。平林金属は初戦でYKKに0-5の完封負け。左腕・畑中萌に12三振を喫した。続くペヤング戦は投手陣が踏ん張り、先取点を挙げながら1-2の逆転負け。「主砲」植村華が抜け、得点力不足が気になるどころだ。



記者会見の準備・設営、司会進行からSNS、Youtubeの配信まで、すべて選手たちの手で行われた



昨年に続き、今年も「開幕記者会見」が開催され、各チームのキャプテンが出席。リーグ開幕への意気込みを語り、開幕に合わせた様々なイベントの開催も発表

**第58回日本女子ソフトボールリーグ 第1節「プラチナセッション」**

月日	試合結果	
4月19日(土)	第1試合	静甲 <b>3-0</b> 大和電機 Blue Lakers
	第2試合	花王コスメ小田原 フェニックス <b>5-4</b> ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校
	第3試合	Citrine Ichinomiya <b>1-9</b> MORI ALL WAVE KANOYA
4月20日(日)	第1試合	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校 <b>1-2</b> 静甲
	第2試合	Citrine Ichinomiya <b>4-7</b> 花王コスメ小田原 フェニックス
	第3試合	MORI ALL WAVE KANOYA <b>3-8</b> 大和電機 Blue Lakers

**第58回日本女子ソフトボールリーグ 第1節「サファイアセッション」**

月日	試合結果	
4月19日(土)	第1試合	ペヤング <b>1-5</b> 小泉病院 Blue Arrows
	第2試合	VONDS市原 Emerald Green <b>6-1</b> 厚木SC
	第3試合	YKK <b>5-0</b> 平林金属 Peachblossoms
4月20日(日)	第1試合	小泉病院 Blue Arrows <b>16-6</b> 厚木SC
	第2試合	平林金属 Peachblossoms <b>1-2</b> ペヤング
	第3試合	YKK <b>9-0</b> VONDS市原 Emerald Green

※試合のスコアをクリックすると各試合のレポートがご覧になります

第58回日本女子ソフトボールリーグ			
プラチナセクション 第1節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	花王コスメ小田原 フェニックス	2勝0敗	1.000
1位	静 甲	2勝0敗	1.000
3位	MORI ALL WAVE KANOYA	1勝1敗	0.500
3位	大和電機 Blue Lakers	1勝1敗	0.500
5位	Citrine Ichinomiya	0勝2敗	0.000
5位	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	0勝2敗	0.000

サファイアセクション 第1節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	YKK	2勝0敗	1.000
1位	小泉病院 Blue Arrows	2勝0敗	1.000
3位	VONDS市原 Emerald Green	1勝1敗	0.500
3位	ペヤング	1勝1敗	0.500
5位	厚木SC	0勝2敗	0.000
5位	平林金属 Peachblossoms	0勝2敗	0.000



大会結果詳細、戦績表、チーム紹介・選手プロフィール、試合スケジュール等詳細は  
**JSL** オフィシャルウェブサイト <https://jsl-women.com/>

# 球春到来！ソフトボールシーズン開幕！！



「ニトリ JD.LEAGUE 2025」第2節・さいたまラウンド第1日第3試合（ホンダvs日立）大分県協会・松田尚也審判員が史上2人目となる「リーグ通算200試合」を達成！



## それぞれの立場で**全力**を尽くし、大会を**支える**

3月21日（金）、「第43回全国高等学校女子選抜大会」の開催を皮切りに、高校男女、中学生男女、小学生男女の6種別で全日本大会を開催し、「令和6年度」の大会を締めくくると、新年度に入り、4月11日（金）には「第54回日本男子ソフトボールリーグ」が開幕を迎え、翌12日（土）には4年目のシーズンを迎えた「JD・LEAGUE」も開幕。翌週末には「第58回日本女子ソフトボールリーグ」が開幕を迎え、球春到来！本格的なソフトボールシーズンが幕を開けた。

選手・チームが「日本一」の座をめざし、全力でプレイするのと同様に、オフシーズンの間、シーズン開幕に向け、準備を進め、入念に研修を繰り返してきた審判員・記録員も「公正・公平」なジャッジ、「正確かつ迅速」な公式記録の提供をめざし、奮闘。それだけでなく、ファウルボールの行方を追い、走る者に泥にまみれ、雨で濡れたボールを懸命に拭く者。天候に振り回され、グラウンド整備に奔走する者。場内アナウンス、放送を担当する者。スタンドに駆けつけ、選手たちに熱い声援と心からの拍手を送る者……そのすべてがあつて、ソフトボールは成り立っている。

今年もまた「ソフトボールシーズン」があつてきた。この光景がまた見られることに心からの感謝を捧ぐ！

# 全日本大会



## 日本男子リーグ・女子リーグ JDリーグ



# 事務局だより

## 女子TOP日本代表

### 糸井ホールディングス株式会社と 国内強化合宿オフィシャルサポート パートナー協定を締結！

女子TOP日本代表が糸井ホールディングス株式会社と「国内強化合宿オフィシャルサポートパートナー協定」を締結。その締結式と記者会見が去る3月26日（水）、群馬県高崎市・高崎市役所において行われた。



締結式には糸井ホールディングス株式会社・糸井丈之社長、（公財）日本ソフトボール協会・牧島かれん会長、女子TOP日本代表・宇津木麗華ヘッドコーチが出席。富岡賢治高崎市長が「立会人」となり、協定書にサインし、その後記者会見を行った。

今回の協定は、女子TOP日本代表が高崎市内で強化合宿を行う際、室内練習場やプライベートサウナを利用でき、選手たちの宿泊・食事のサポート等も行う等の内容が盛り込まれた。

牧島かれん会長は「女子TOP日本代表は東京2020オリンピックで金メダルを獲得し、昨年のワールドカップでも優勝を飾る等、文字通り『世界一』のチームであり、私たちも日本ソフトボール協会の英知を結集し、力を合わせ、全力でサポートしなければならぬと考えている。この度の糸井ホールディングス様の支援・サポートの申し出は本当にありがたいことであり、ソフトボールがオリンピック競技に『復活』する2028年ロサンゼルスオリンピックへ向け、ソフトボールが非常に盛んで、自らを『ソフトボールシテイ』と呼ぶ高崎市を拠点に強化合宿を行えるようになることはチームにとって大きなメリットがある。日頃からソフトボールに理解があり、熱い応援・支援をしてくださっている高崎

市民の皆さんとともにチームの強化を行えることは嬉しい限りであり、非常に心強く、頼もしく感じている」と謝意を述べた。

女子TOP日本代表の支援・協力を表明した糸井ホールディングス株式会社・糸井丈之社長は「この高崎市はソフトボールが盛んな土壌があり、ソフトボールを市民に受け入れてもらうとともに、高崎の良さを知っていただき、広がっていくきっかけになれば……との思いがあり、私たちがこうして支援・協力、サポートを申し出たことで、他の企業さんにも『何か協力したい』『お手伝いさせてもらえれば』と支援・協力の輪が広がっていつてくれればと願う」と話し、「高崎にはビックカメラ高崎、太陽誘電という女子のTOPリーグ・JDリーグのチームが2チームもある。そこから日本代表選手が一人でも二人でも出てきてくれれば地元としても非常に盛り上がるし、大変名誉で誇れることになる」と地元の盛り上がり、オリンピック選手、金メダリストの誕生を期待を込めて語った。

「立会人」となった富岡賢治高崎市長は、「高崎には宇津木さんの名を冠した『宇津木スタジアム』というソフトボール専用球場があり、国際大会やJDリーグの試合を行う等、ソフトボールに『熱い』土地柄であり、自ら『ソ

フトボールシテイ』を名乗るほど、力を入れていく。まずは高崎で強化合宿を行ってもらい、力をつけ、いち早く2028年ロサンゼルスオリンピックの出場権を獲得してもらい、2008年北京、東京2020オリンピックに続く、3大会連続の金メダル獲得が現実のものとなった暁には、高崎市内をオープンカーでパレードしてみんなでお祝いしましょう！」と、早くも金メダル獲得へ夢を馳せ、祝勝パレードの計画にまで言及する力の入れよう。行政としてもできる限りのバックアップをしていくことを約束してくれた。



「新たなサポート」を力に、さらなる強化を！！